

議員提出第 7 号議案

調布飛行場における小型航空機墜落事故に関する決議

上記の議案を提出する。

平成27年9月29日

提出者	府中市議会議員	村	木	茂
賛成者	//	田	村	智恵美
	//	稲	津	憲 護
	//	赤	野	秀 二
	//	横	田	実
	//	奈良崎	久	和
	//	村	崎	啓 二
	//	備	邦	彦

調布飛行場における小型航空機墜落事故に関する決議

平成27年7月26日午前11時ごろ、調布飛行場を離陸した小型航空機が調布市内の住宅地に墜落し、住民1人、乗員2人が死亡、住民及び消防士が6人、乗員3人が負傷するという非常に痛ましい事故が発生した。

今回の事故は調布飛行場に常駐する自家用機によるものであり、これまで地元3市から、調布飛行場の管理運営者である東京都に対して、飛行場の安全対策の徹底を求めるとともに、自家用機の削減について再三にわたり強く要請してきたにも関わらず、このような事故が起こったことは極めて遺憾である。

また、安全対策が図られたとして、今回の事故を踏まえ自粛要請がなされてきた事業機の運航が、東京都の判断により去る9月1日から再開されたが、さきに東京都において開催した住民説明会では、これまで要請してきたにも関わらず、地元住民の不安が抜本的に解消されたとは言いがたい状況にある。

よって、府中市議会は、東京都に対し、市民の生命・財産を守る立場の地元市議会として、今回の事故発生について嚴重に抗議するとともに、次の事項について強く求めるものである。

- 1 早期に墜落事故の原因を究明し再発防止策を講じるとともに、今後も周辺住民に対してその内容を丁寧に説明し、一層の不安解消に努めること。
- 2 東京都と府中市の協定書、覚書を改めて確認し、徹底した再発防止策を行い、周辺住民の安全・安心な生活環境を確保すること。
- 3 被害に遭われた方々の支援に万全を期すること。
- 4 適切な対策と説明が行われるまで、自家用機の離着陸を停止すること。
- 5 事業機の運航に当たっては、さらなる安全対策と運航ルールの厳守を徹底すること。

以上、決議する。

平成27年9月29日

府中市議会